ごみを出さないイベントに挑戦

～那覇市環境フェア＆国場川水あしび～

第15回全国生涯学習フェスティバル「まなびピア沖縄２００３inなは」の一環として、奥武山公園いこいの広場では「那覇市環境フェア＆国場川水あしび」が開催されました。

会場で展開された環境にやさしいイベントへのとりくみをご紹介します。

自分で使った食器をていねいに洗う子どもたち

食器類の貸し出しを受け付ける沖縄大学エコ・キャンパス・「アースの会」のみなさん

「国場川水あしび」では漫湖ウォークラリーや、シーカヤック体験、「エネルギーフェア」では、ソーラーパネルの展示や、沖縄工業高校のバイオディーゼル燃料の紹介、エコアンテナショップZENのフェアトレード（途上国から継続して、適正な価格で商品を購入すること）の紹介、また、自転車タクシーの体験乗車などがありました。「4Rフェア」では、フリーマーケットや、環境に関した企業・団体・行政による展示、ごみ収集車に貼って収集時の広報に活用するための絵画コンクールを実施しました。

◎使い捨て容器、ごみ箱をなくしました

①ごみ相談所の設置

来場者にはごみを持ち帰ることをおねがいし、ごみ箱を置かない代わりに、「ごみ相談所」を設け、クリーン指導員のみなさんが持ち帰り用のごみ袋（レジ袋）を配布したり、飲食コーナーから出る資源ごみの分別を指導しました。

②飲食コーナーでのディッシュリターン（繰り返し使用できる食器を使う＝ごみ減量）＆デポジットシステム（預かり金を上乗せして販売し、返却時に預かり金を返す＝ポイ捨て防止）

会場内の飲食コーナー入り口では、ボランティアの小禄小学校・鏡原中学校・金城中学校の児童生徒が、ディッシュリターン、デポジットシステムの説明や呼びかけ、食器類の貸出しを行いました。また、飲み物は、繰り返し使えるびん製品を多くし、缶についてもデポジットにより、買った所に戻すようにして、ポイ捨ての防止を図りました。

③エコビアガーデン

リユースカップ（洗浄し繰り返し使用するコップ）を用いて、大人へのごみ減量をアピールしました。

このほか一部生じた紙製リサイクル食器や紙コップについては、分別してリサイクル（溶解処理後にトイレットペーパーへ）し、割り箸や、生ごみも堆肥化処理しました。

以上のとりくみで、期間中に生じたごみ量は13.4kg（ごみ袋2、3個）ですみました。

お問い合わせ
環境政策課☎951-3231

奥武山運動公園の各イベント会場を結んだ無公害の自転車タクシー

ごみ収集車に子どもたちの環境に関する絵を展示。来場者にアピールしました

会場ではペットボトルを使った壁かけグリーン作りなどの手作り体験が行われました

「国場川水あしび」でゴムボートを楽しむ市民のみなさん

市のごみ量（年度累計比率）		
H15年11月末現在（4月～11月分）		
	ごみ量（t）	比較（%）
H10年　11月	81,454	100%
H15年　11月	62,932	77.3%
差	-18,522	22.7%

注：那覇市の資源ごみを除く量（南風原町含まず）
※H10年度を基準にH16年度に25.8%の減量を目指します。

エコアンテナショップ Z·E·N

環境にやさしい情報を発信

ZEN ☎862-6182
ゼロエミッション推進室 ☎861-3244

平和通りにあるエコアンテナショップ「ZEN」。

市が民間団体の「アースの会」に運営を委託し、「グリーンコンシューマー（環境のことを考えて買い物をする人）の拡大」と「エコ商品（環境に配慮した商品）の情報発信」をめざしています。店内にはマイバッグ、古着から作った布ぞうり、人形、コースター、ブローチなどの手作りリメイク商品、ヤンバルや南部から届けられる無農薬野菜、トイレットペーパーや石けんなどのリサイクル商品、そして布ナプキンも。また、太陽熱で調理できるソーラークッカーの販売や貸し出しも行っています。毎月、環境をテーマに企画展や裂き織り、石けん作り、ヘナの毛染め体験などの各講座も開かれ、手作り好きが集まって、リサイクルについて語り合いながら、心のこもった作品を完成させます。

スタッフの宇地原さんは「市民のみなさんに環境にやさしい商品を紹介するほか、山歩きや沢歩きをする自然体験講座もおこなっています。

環境についてのさまざまな情報が得られる場所として多くの市民に活用していただきたいですね」と情報発信地「ZEN」をアピールしました。

リターナブルビン入り ジュース 100円
デポジット
中によ～く冷えたのもあります

訪れる市民に環境を考える情報を伝えます（平和通り）

ホームヘルパー2級課程修了者へ 助成金を支給

那覇市では、本市在住の方でホームヘルパーとして社会で活躍するためにヘルパーの資格を取得しようとする方を支援するため、今年度（平成15年4月1日～平成16年3月31日）中にホームヘルパー2級課程修了者に助成金を支給します。

1　**募集期間**　平成16年2月2日から平成16年2月27日（那覇市役所本庁2階　ちゃーがんじゅう課に申請）
2　**対 象 者**　（①～④のすべてに該当すること）
　①平成15年4月1日～平成16年3月31日までにホームヘルパー2級課程を修了又は修了見込みの者
　②受講料を自己負担している者で、他の助成制度（教育訓練給付制度等）を利用していない者
　③2級課程修了時及び申請時において那覇市の住民である者
　④本人市民税非課税の者（ちゃーがんじゅう課で確認します）
3　**助成金額**　2万円
4　**助成人数**　40人（申込者多数の場合抽選にて決定）
　ただし、以下の団体が研修費を負担して開催する2級課程の研修は、助成の対象外とします。
　①地方自治体　②雇用・能力開発機構　③介護労働安定センター
　④その他公共的団体が主催する研修
　⑤公立学校又は学校法人等における教育課程において行われる2級課程
　助成希望者は、次の必要書類を揃えて申請して下さい。
　①那覇市ホームヘルパー研修受講支援事業助成申請書
　②修了者は、修了証書か携帯用修了証書の写し
　③修了見込者は、後日抽選に当たった方だけ修了証（3月末日までの日付であること）の写し
　④他市町村からの転入者は、所得証明書

お問い合わせ　ちゃーがんじゅう課　在宅福祉係　☎862-9010

障害者の方の高速道路通行割引制度が 変わりました

現在、割引証でサービスを受けている方も新たに手続きが必要になります。

改正点　・割引証が廃止され、手帳の提示のみでサービスが受けられます。
　（お手持ちの割引証は平成16年5月31日まで使えます）
　・ETCノンストップ走行時にも適用されます。
　＊ETC車載器購入費についての助成があります（人数に制限があります）。詳しくは下記へお問い合わせください。
対象者　・本人運転の場合…身体障害者手帳または療育手帳をお持ちの方
　・介護者運転の場合…障害の部位や程度によって異なります。
必要なもの　・身体障害者（又は療育）手帳・免許証（本人運転の場合のみ）
　・自動車検査証
　＊ETCご利用の方は必要書類が異なります。

お問い合わせ　障害福祉課
☎862-3275　FAX 869-8192

年末年始業務のお知らせ

し尿汲取り	ごみ収集
12月30日（火）まで通常どおり業務 12月31日（水）～1月4日（日）まで休み 1月5日（月）から通常どおり業務 （有）中央環境サービス公社 ☎862-2749	年末は12月31日（水）まで収集します。 12月27日（土）、28日（日）、1月1日（木）～4日（日）は休みです。 **12月29日（月）、12月30日（火）12月31日（水）は通常通りの収集となります。** 年始は1月5日（月）から収集します。 クリーン推進課 ☎889-3092

各種イベント用の食器類を無料で貸し出しています。☎889-5396 リサイクルプラザ